

脳外傷友の会コロポックル 高次脳機能障害講演会

## 家族の役割と家族の支援

～当事者も家族も再び輝くために

病気や障害は当事者の努力や家族の協力が大事といわれ、予後を左右するともいわれています。私たちの家族会も18年の実践を通じて、家族が変われば当事者も変わることを実感してきました。しかし医療や福祉の現場でまだまだ家族の存在は希薄です。

家族も、支援に関わる方も、もう一度家族の役割、家族会の役割について再考し、家族の位置づけを模索したいと考え、講演会を企画しました。今回、医療の現場でのみならず、長きにわたり高次脳機能障害の家族の活動に寄り添って活躍されてきた講師の先生をお招きしました。

「家族」の再認識は決して高次脳機能障害だけの問題でなく、色々な病気、障害にも必要とされる認識であると考えます。

○とき 2017年9月30日(土) 13:00～15:00

○ところ 札幌市教育文化会館 研修室301  
(札幌市中央区北1条西13丁目)

○講師 渡邊 修 氏  
東京慈恵医科大学リハビリテーション医学講座教授

○参加費 無料



【主催】脳外傷友の会コロポックル

連絡先 札幌市豊平区月寒東1条17丁目5-39

☎011-858-5600

後援：札幌市